

302.4V
リチウムイオン

凡例

	エアバッグ		貯蔵ガスインフレーター		シートベルトプリテンショナ		SRSコントロールユニット		歩行者保護アクティブシステム
	自動ロールオーバープロテクションシステム		ガスストラット / プリロードスプリング		高強度ゾーン		特別な注意が必要なゾーン		
	バッテリー、低電圧		超コンデンサ、低電圧		フューエルタンク		ガスタンク		安全バルブ
	高電圧バッテリーパック		高電圧電源ケーブル / コンポーネント		高電圧の接続解除		ヒューズボックスにより高電圧システムを無効化		超コンデンサ、高電圧



1. 識別/認識

E-PACE PHEV モデルはすべて、車両に取り付けられた次のバッジで識別できます。

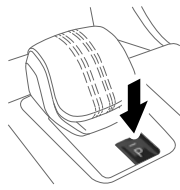
エンジンから音が聞こえなくても車両が停止しているわけではありません。車両が完全に停止するまで、サイレントムーブメントまたは瞬時の再始動を可能とする機能が作動しています。適切な PPE を着用します。



2. イモビライゼーション/スタビライゼーション/リフティング

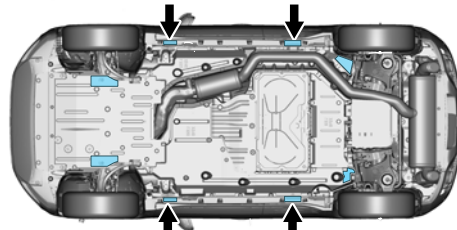
車両のイモビライゼーション

1. 車輪に輪止めをします。
2. 「P」(パーキング)スイッチを押すと、トランスミッションが「P」(パーキング)に入り、EPB がかかって車両が安全な状態になります。



車両リフティングおよびジャッキアップ。

車両のリフティングまたはジャッキアップを行うときは、必ず、下図に記載されているジャッキアップポイントを使用してください。

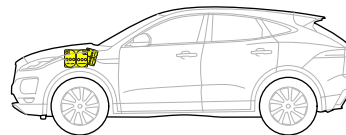
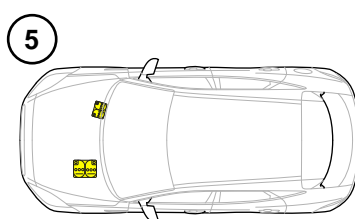
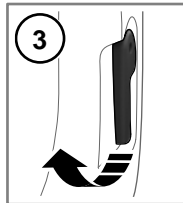
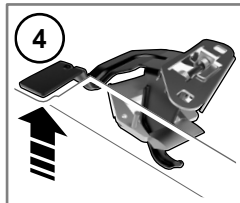
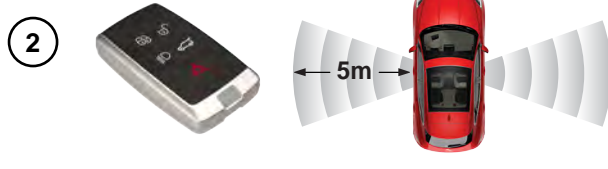


木製ブロックやレスキューエアリフティングバッグなどのクリブをエキゾーストシステムやフューエルシステムの下に置かないでください。これを守らないと、フューエルリークや火災の原因となる場合があります。

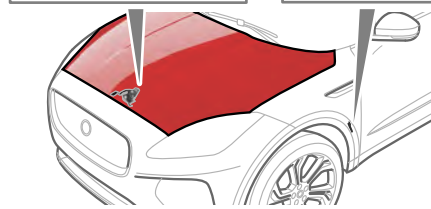
3. 直接的な危険の回避/安全規則

手順を実行して、車両を完全にシャットオフします。

1. イグニッションをオフにします。
2. 車両からすべてのスマートキーを取り外し、5メートル以上離れた場所に保管します。
3. 左側前席足元にあるハンドルを引き、ボンネットの固定ラッチを解除します。
4. ボンネット中央部の下にあるボンネットセーフティキャッチを持ち上げます。ボンネットを持ち上げます。
5. スタートアップバッテリーの接続を外します。



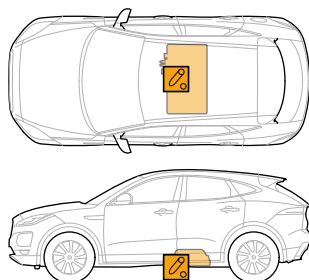
端子の接続を外すときはマイナス側を先に外し、接続するときはマイナス側を後にします。これを守らないと、感電によって負傷するおそれがあります。



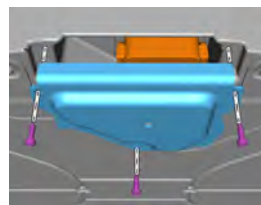
高電圧バッテリーからマスタ サービス切断 (MSD) を取り外します。



高電圧バッテリーから MSD を取り外すときは、必ず、クラス 0 個人防護用具 (PPE) を着用してください。



高電圧バッテリー底部から MSD アクセスパネルを取り外します。



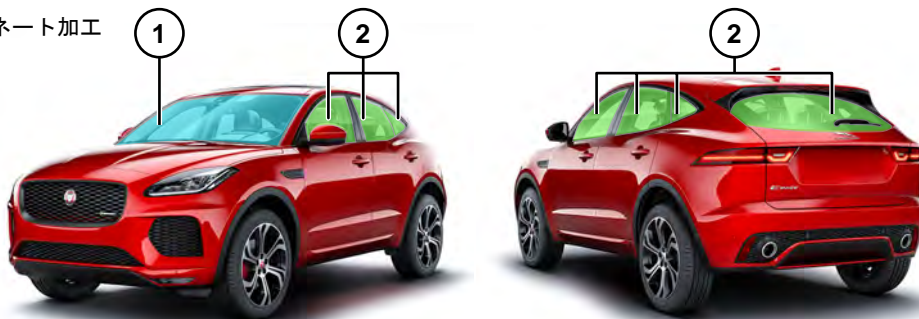
示されている 4 段階のプロセスを実施し、高電圧バッテリーから MSD を取り外します。





4. 乗員へのアクセス

1. ラミネート加工
2. 強化



5. 蓄積されたエネルギー/液体/気体/固体

バッテリー						12 V	
高電圧バッテリーパック							302.4 V
フューエルタンク						57.6 l	
不凍液						8.7 l	



バッテリーパックからクーラントが漏れていると、熱暴走の危険性があり不安定になることがある。サーマルイメージングカメラでバッテリーパックの温度を点検する。



6. 火災発生時

電気自動車またはハイブリッド車両に故障、損傷、または火災が発生した場合は、以下の点に注意する。



1. 高電圧バッテリー、サブシステム、およびコンポーネントが通電していて完全に帯電していることを常に念頭に置くこと。
2. 高電圧バッテリー、ケーブル、および露出した電装品に触れると感電するおそれがある。

高電圧 (HV) システムを巻き込まない軽微な車両火災は、通常の消化方法で対処することができる。



火災に巻き込まれた、または高熱にさらされた PHEV バッテリーは有毒なガスを発生する。これらの有毒ガスには、硫酸、炭素酸化物、ニッケル、リチウム、銅、コバルトが含まれる。作業者は完全な PPE および呼吸器具により自身を保護する必要がある。



PHEV バッテリーまたは HV システム内のコンポーネントが火災または高熱の影響を受けた場合、HV システムは安全ではないものとして取り扱う必要がある。したがって十分な PPE を着用し、車両との接触を避ける必要がある。



火災または高熱にさらされた部分は大量の水を使用して処理する必要がある。十分な水の供給が得られない場合は HV システムの消火を試みないこと。

HV システムは独自のクーラント (グリコール系クーラント) を使用している。システムが損傷した場合、このオレンジ色のクーラントがバッテリーまたは周辺のコンポーネントから漏れ出る可能性がある。



PHEV バッテリーの温度の監視には赤外線カメラを使用すること。



7. 浸水している場合

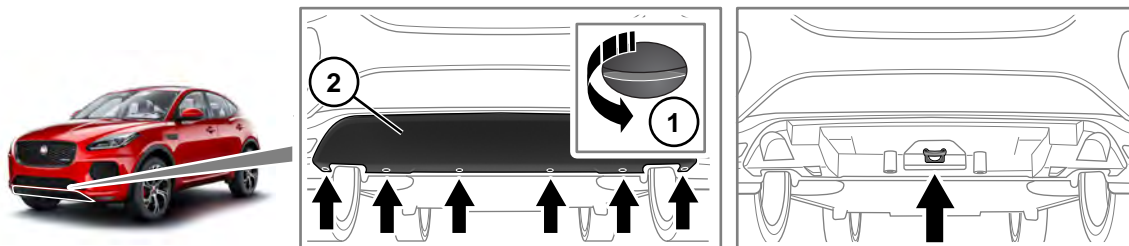
車両での作業は、必ず、水から車両を移動してから行う。



8. けん引/輸送/保管

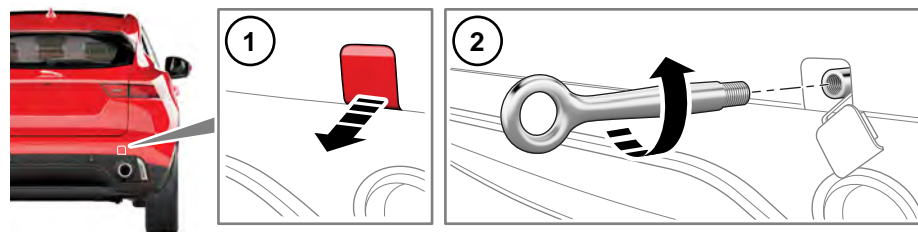
フロントけん引フック

1. 6 個すべての固定具をコインなどで反時計回りに 90° 回し、カバーの下端を緩める。
2. カバーを後部の下端から手前に引き出し、カバーの上端にあるラグを外す。



リヤけん引フック

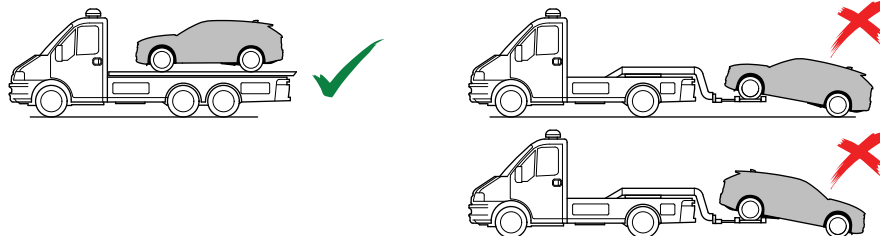
1. リヤバンパのアクセスパネルの右端を押しして固定クリップを外す。カバーの上端を押し込んでからカバーを手前に引いて外す。このカバーは、テザーによってバンパーに固定されているが、外して安全な場所に保管することができる。
2. けん引ポイントをリヤバンパに通して位置を合わせる。けん引フックをけん引ポイントに反時計方向に完全にねじ込んで固定する。



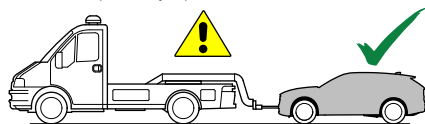
回収方法

運搬車またはトレーラ:

車両の回収や輸送を行う場合は、専用に設計された運搬車またはトレーラの使用が推奨される。



推奨される方法で車両を回収できない場合、緊急時、やむを得ない場合には、4 輪すべてを接地した状態で短い距離をけん引できる。車両をけん引する距離は 50 km (30 マイル) を超えないこと。けん引時の車速は 50 km/h (30 mph) を超えないこと。



すべてのホイールを接地した状態でのけん引:

9. 重要な追加情報

詳細については、TOPIX <https://topix.jaguar.jlrext.com/> を参照すること。

10. 使用されているピクトグラム



概要警告



警告、電気



爆発性



腐食性



人体への
有害性



急性毒性



可燃性



水で消火



赤外線カメラ